

第53回 SCCJセミナー開催のご案内

生活者に愛される「心地よさ」をデザインする ～処方化技術、感性工学、心理学からのアプローチ～

本セミナーは化粧品を創るためのさまざまな分野からテーマ選定をしてみました。今回は「生活者に愛される「心地よさ」をデザインする ～処方化技術、感性工学、心理学からのアプローチ～」と題し、感性・触感の基礎知識から、長く愛される製品を実現するための処方化技術まで幅広い内容を取りあげました。

今回のセミナーでは業界内外を中心に7名の講師をお招きし、さまざまな関連した基礎研究や技術動向について広くお話いただきます。

また本セミナーの特色でもある、講演後の講師の方々と意見交換ができるフリーディスカッションの場もご用意いたします。講師の皆様と直接議論する事で、聴講するだけでは得られない新たなヒントも見つけられるものと思います。こちらにも奮ってご参加ください。

プログラム及び講演要旨は別紙をご覧ください。

ご案内

日 時 2019年2月21日(木) 10:30～18:30(受付開始10:00予定)

会 場 きゅりあん(品川区立総合区民会館) 〒140-0011 東京都品川区東大井5-18-1
 セミナー:8階大ホール/フリーディスカッション:7階イベントホール

申込期間 **2019年1月7日(月)～2月7日(木)23時59分 [締切厳守]**
 (日付が変わると自動的に締切となるため、Web画面上からの申し込みができなくなります)
※今回よりWeb参加申し込みシステムの運用を開始いたします。
 ※参加申し込み/キャンセルについての詳細は次ページをご確認ください。

参加費	SCCJ会員(正会員・準会員・シニア会員)	13,000円
	代理(*1 正会員が不参加の場合、1名のみ会員参加費で代理参加可)	13,000円
	一般	19,000円
	当日(会員・一般ともに同額)	19,000円

振込先 みずほ銀行 銀座支店 普通 No.1797932
 「日本化粧品技術者会(ニホンケショウヒンギジュツシャカイ)」

支払期限 **2019年2月14日(木)まで**に、上記の指定口座へお振込みをお願いします。

<キャンセル>

キャンセル締切日：2019年2月14日(木)

キャンセルの場合は、参加者名(所属企業・学校名)をFAX(045-590-6093)で事務局(本部)までお知らせください。

- Web上では参加申し込みのみとなり、キャンセルには対応していません。
 - キャンセル締切日までに必ず事務局(本部)へFAX連絡をお願いします。参加費振込済みの場合には開催終了後に返金いたします。
- キャンセル締切日以降のお申し出の場合にはご返金対応いたしかねます。

<お願い事項>

- Web参加申し込みは1名毎の登録となります。
- 参加費を複数名分合算してお振込み頂く際は、合計額および参加者名等の明細と振込予定日を事務局(本部) **FAX(045-590-6093)**へご連絡ください。
- 明細をご連絡いただかない場合には、どなたの参加費であるか判断できません。
- この場合、同一所属(企業・学校名)毎、受付順に入金処理いたしますのでご了承ください。
- ※入金確認業務の円滑化にご協力をお願いいたします。

<参加申込方法>

本開催セミナーより「Web参加申し込み」の運用を開始いたします。

SCCJ Webサイト内、イベント「第53回 SCCJ セミナー」ページよりお申し込みください。

<https://www.sccj-ifsc.com/event>

- 受付完了メール受信のため、参加申し込み前にメールアドレスの入力間違いや、受信拒否設定がない事をご確認いただき、ドメイン名@sccj.comを許可設定してください。
 - Web参加申し込みフォームへ必要事項を入力の上、ご登録ください。
 - 参加申し込み後、受付完了のメールが自動送信されます。メール再送等のご要望には対応できません。
 - Web参加申し込みは**1名毎の登録**です。
 - 会員申し込みには会員IDと、ご自身で登録したパスワードが必要です。「一般」で申し込まれると会員料金となりません。必ずログインした上で「会員」を選択しお申し込みください。代理の方が参加される場合は、正会員IDでログイン後、参加申込画面の「代理者による参加」にチェックすると代理参加者の情報入力フォームが出現します。
- SCCJ会員ID・パスワード照会方法：https://www.sccj-ifsc.com/lost_pass/
- SCCJへ登録済のメールアドレス(SCCJ配信メールが届くご自身のアドレス)をご入力頂くと、会員IDとパスワードが登録メールアドレスへ自動送信されます。
- ※会員ご本人が登録した任意のパスワードは、事務局での管理はしていません。
- ※会員ID登録のメール認証を行っていない方はご利用できません。
- (認証手続きについてはWebサイトをご確認ください)

<お問合せ先>

日本化粧品技術者会 事務局(本部)担当：森、千葉

〒224-8558 神奈川県横浜市都筑区早渕2-2-1 (株)資生堂リサーチセンター内

TEL：045-590-6025 / FAX：045-590-6093

<会場アクセス>

きゅりあん(品川区立総合区民会館)

JR大井町駅下車 徒歩約1分、東急大井町駅下車 徒歩約2分

JR駅ビル(アトレ)向かい側LABI(電気量販店)の8Fです。

※ 詳細はWebの開催案内ページにてご確認ください。

生活者に愛される「心地よさ」をデザインする ～処方化技術、感性工学、心理学からのアプローチ～

< スケジュール >

< 総合司会 工藤 大樹 (ポーラ化成工業株) >

時間	題目・講師
10:30-10:35	開会の挨拶 セミナー委員長 植田 光一

< 座長 志水 弘典 (株マダム) >

10:35-11:15	「化粧品触感のダイナミクス」 — 指・製剤・肌の相互作用に着目して— 花王(株) 小島 晴予 氏
11:15-11:55	特徴的な感触をもつ乳化製剤 — 固体粒子を利用した乳化技術 (株)資生堂 関根 知子 氏
11:55-13:10	昼 食 休 憩

< 座長 寺内 友広 (株ナリス化粧品) >

13:10-13:50	ワックスオイルゲルに着目した好感触口紅の開発 (株)コーセー 宇田川 史仁 氏
13:50-14:30	保湿性と感触に優れたスキンケア洗浄剤の開発 ライオン(株) 鈴木 孝直 氏
14:30-15:10	皮膚感覚の分子メカニズムとその応用 (株)マダム 藤田 郁尚 氏
15:10-15:25	休 憩

< 座長 新垣 健太 (株ノエビア) >

15:25-16:25	「走る歓び」の追及でお客様に「人生の輝き」を マツダ(株) 特別顧問 素利 孝久 氏
16:25-17:15	プロダクトデザインにおける感性価値のメトリック 関西学院大学理工学部 教授 長田 典子 先生

< 総合司会 工藤 大樹 (ポーラ化成工業株) >

17:25-18:25	フリーディスカッション
-------------	-------------

18:25-18:30	閉会の挨拶 セミナー副委員長 山原 年
-------------	------------------------

演題 ①「化粧品触感のダイナミクス」— 指・製剤・肌の相互作用に着目して—

花王株式会社 小島 晴予 氏

要旨：化粧品の触感、製品の購入や嗜好に影響を与える重要な感性価値の一つである。触感、「ふれる」という能動的動作を介して認知されることから、人が触感を感じている際の指—製剤—肌の間で生ずる動的挙動(ダイナミクス)に踏み込んで検討する必要がある。今回、指上に違和感なく装着できるワイヤレス慣性センサを応用した指の動きの計測手法の紹介及び、計測データと化粧品触感との関連性等について報告する。

演題 ② 特徴的な触感をもつ乳化製剤 — 固体粒子を利用した乳化技術

株式会社資生堂 関根 知子 氏

要旨：化粧品は毎日使うものだけに、効果はもちろん、気持ちよさや楽しさといった感性に訴える要素も欠かせない。界面活性剤フリー製剤の一つである粉末乳化法は、乳化基剤の物理的特性だけでなく、感触面でも界面活性剤乳化と異なる特徴を有する。粉末乳化と界面活性剤乳化の違いと、それらを組み合わせて調製したマルチブルエマルジョン、気泡を含んだクリーム基剤など、誰が触っても違いがわかる、変わった？感触の基剤を紹介する。

演題 ③ ワックスオイルゲルに着目した好感触口紅の開発

株式会社コーセー 宇田川 史仁 氏

要旨：「発色」や「ツヤ」、「使用感」は口紅の基本品質であり、バリエーションに富んだ品質が求められている。特に近年では滑らかな使用感のニーズが高まっており、それを実現するためには、口紅の基本骨格となるワックスオイルゲルの制御技術が不可欠となっている。本講演では、口紅におけるワックスオイルゲルについて解説するとともに、更に微細なワックス結晶構造を制御し好感触を実現したナノ構造制御技術などを紹介する。

演題 ④ 保湿性と触感に優れたスキンケア洗浄剤の開発

ライオン株式会社 鈴木 孝直 氏

要旨：現在、市場には保湿を訴求する皮膚洗浄剤が多い。しかし実際は、半数以上の女性がボディソープの保湿効果に不満を感じている(2015年、当社調べ)。原因を、保湿成分の多くが、すすぎ時に洗い流されているためであると推測した。本セミナーでは、シャンプーのコンディショニング機能発現の技術に着目し、アニオン性界面活性剤とカチオン性高分子を組み合わせ、肌の保湿性や触感が向上した事例について、メカニズムや生活者の評価、技術の応用展開可能性を交えて紹介する。

演題 ⑤ 皮膚感覚の分子メカニズムとその応用

株式会社マンダム 藤田 郁尚 氏

要旨：20年前、私たちは、皮膚において温度や化粧品による刺激感覚が同じ分子によって感知されているとは想像もしていなかった。1998年、TRPV1というイオンチャネルが、熱だけでなくカプサイシンに反応することが発見され、皮膚感覚の理解が一変した。株式会社マンダムでは、2003年に発見されたTRPA1が、様々な成分による刺激感覚と関係していることを明らかにしてきた。今回、化粧品への応用例も含めて紹介する。

演題 ⑥「走る歓び」の追及でお客様に「人生の輝き」を

マツダ株式会社 特別顧問 素利 孝久 氏

要旨：マツダは、どんな時代でも人の心をワクワクさせるというクルマが本来持つ価値を信じ、「走る歓び」を追求し、カーライフを通してお客様に人生の輝きを提供していきたいと考えている。「走る歓び」は、クルマの単なる高性能・高制御のみで得られるものでなく、人間中心の研究、人間工学/感性工学の研究が重要である。本講演では、これらの弊社の開発の取り組み事例やオープンイノベーションとして産官学での研究・開発の活動を紹介する。

演題 ⑦ プロダクトデザインにおける感性価値のメトリック

関西学院大学理工学部 教授 長田 典子 先生

要旨：QOL(生活の質)が問われる現代社会において、楽しさや感動といった心の豊かさをもたらす新しい科学技術が求められている。講演では、人の感じ方を定量化し、製品設計に役立つ客観的なものさし(メトリック)を作る感性価値創造研究を紹介する。3Dプリンタ等による個人のものづくりが世界に広まる中、感性価値のメトリックが社会の価値観を先導する役割を果たしている。